

PlateSpin Forge (ソフトウェア) 3.3 リリースノート

2012年9月28日

Novell®

バージョン 3.3 は Forge のソフトウェアのみのリリースで、新機能、機能強化、およびバグフィックスを提供します。

以前の 3.x.x リリースに同梱されたリリースノートのドキュメントについては、「[PlateSpin Forge 3 マニュアルの Web サイト \(http://www.novell.com/documentation/platespin_forge_3\)](http://www.novell.com/documentation/platespin_forge_3)」にアクセスし、メインの目次ページの下部にある「[以前のリリース](#)」を確認してください。

1 このリリースについて

- ◆ **vSphere 5.1 のサポート** : このリリースでは、VMware vSphere 5.1 プラットフォームをサポートしています。

フェールバックターゲットとして vSphere 5.1 DRS Cluster または ESXi 5.1 Server を選択できるようになりました。

『ユーザガイド』の「[サポートされる構成](#)」セクションにすべて目を通してください。

- ◆ **新規ワークロードのサポート** : Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 5.6-5.8、6.0-6.2、および 6.3 を実行するワークロードを保護できるようになりました。これには、これらの Linux バージョンをベースとした Oracle Enterprise Linux (OEL) 配布も含まれます。

『ユーザガイド』の「[サポートされる構成](#)」セクションにすべて目を通してください。

- ◆ **WinPE 3.0 を活用した追加の ISO イメージ** : このリリースには、フェールバック時に物理マシンをブートするための追加の PlateSpin ブート ISO イメージ (WindowsFailback-WinPE3.iso) が含まれています。新しいイメージは Microsoft Windows Preinstallation Environment (WinPE) バージョン 3.0 を活用しています。ターゲットハードウェアが既存のブート ISO イメージ (WindowsFailback.iso) でサポートされていない場合は、これを使用してください。

『ユーザガイド』の更新リスト「[ターゲット物理マシン向けの ISO ブートイメージ](#)」を参照してください。

- ◆ **Windows のワークロード用 .NET フレームワーク要件の統一** : PlateSpin Protect によって保護される対象の Windows ワークロードは、PlateSpin Forge によってインベントリされる前に、Microsoft .NET Framework バージョン 2 または 3.5 SP1 がインストールされている必要があります。
- ◆ **フェールバック物理マシンを PlateSpin Server にポイントするための単純な URL** : フェールバックターゲットとして物理マシンを起動するために ISO イメージを使用する場合、PlateSpin Server ホストのホスト名または IP アドレスを指定するだけでよくなりました (http://<hostname_OR_IP_address>/platespinforge を入力する必要はなくなりました)。

- ◆ **ローカライゼーション**：このリリースに同梱される製品マニュアルおよび統合化された WebHelp システムは、中国語 (簡体字)、中国語 (繁体字)、日本語、ドイツ語、およびフランス語にローカライズされています。

[PlateSpin Forge 3 マニュアル Web サイト](#)に掲載されている英語バージョンの製品マニュアルはローカライズバージョンよりも頻繁に更新されます。したがって、英語版を最新版と見なしてください。

2 バグフィックス

このリリースは、以下のバグに対応しています。

- ◆ **770964 (Windows) カスタム環境設定スクリプト実行時の問題**：製品のバッチファイル処理方法に問題があり、特定のカスタム環境設定スクリプトが正常に実行されていませんでした。
- ◆ **753157 電子メールによるレポートレポートが正常に機能しない**：特定の状況で、PlateSpin Forge 電子メール通知の受信者として一覧にされている電子メールアカウントを削除すると、「フラッド」などの異常な動作が発生することがありました。
- ◆ **753449 (Windows) 必要に応じてワークロードのホスト名を変更できない**：場合によっては、保護された Windows Server 2008 ワークロードのフェールオーバー VM がドメインに参加するよう設定されていると、そのフェールオーバー VM にシステムが新しいホスト名を割り当てることができませんでした。
- ◆ **770996 イベントレポートのユーザが正しくない**：イベントレポートで、実際のユーザ名の代わりに system によって開始されたすべての [ワークロードの追加] ジョブが誤って表示された。
- ◆ **762850 (Linux) デフォルト以外のシェルを使用できない**：PlateSpin Forge は、PlateSpin Protect Server がデフォルトで使用している Bash シェル以外のコマンドラインインタプリタを持つ Linux ワークロードを保護できていませんでした。PlateSpin Forge Server で使用しているデフォルトシェルを上書きして Linux ワークロードでコマンドを実行することができます。[ナレッジベースの記事 7010676](#) を参照してください。
- ◆ **756871 (Linux) フェールオーバー後、ターゲットの 2 つの NIC のシーケンスが正しくありません**：ターゲット NIC のマッピングによって、Novell eDirectory サービスが誤った NIC にバインドされるなどの問題が起こる場合があります。
- ◆ **773097 (Windows XP) フェールオーバー VM 上の SCSI コントローラタイプが正しくない**：Windows XP ワークロードの VM レプリカに (LSI SCSI コントローラではなく) BusLogic SCSI コントローラが割り当てられ、フェールオーバー機能に悪影響を及ぼしていました。
- ◆ **768137 (Windows) インクリメンタル中にレジストリハイブが正しく複製されません**：Windows Server 2003 および Windows XP における Windows Registry 変更の処理方法によって、保護されたワークロードのレジストリと VM レプリカとの間で不一致が生じる場合があります。
- ◆ **734525 (Linux) ポート 3725 に接続できません**：2 つの NIC を使用した Linux ワークロードとの通信が管理される方法によって、時おり接続の問題が発生する場合があります。
- ◆ **744867 NLB クラスタホストのインベントリの問題**：Windows Network Load Balancing (NLB) Cluster ホストのコレクションおよび処理により、VM レプリカで環境設定の問題が発生する場合があります。
- ◆ **722096 コンテナをリフレッシュした後、インベントリからフェールオーバー VM 情報が削除される**：時々、PlateSpin Server はコンテナから情報を適切に取得できないことがありました。コンテナのリフレッシュ操作で、フェールオーバー VM に関する情報が削除されてしまい、保護契約およびフェールオーバーの機能に悪影響を及ぼすことがあります。

- ◆ **697049 vNIC の MAC アドレスが変更された後、保護コントラクトが壊れました** : 保護コントラクトをセットアップした後、フェールオーバー VM の仮想ネットワークアダプタの MAC アドレスを変更 (手動またはハイパーバイザによって自動的に) したことで保護が壊れました。
- ◆ **672815 vNIC と vNetwork 間のマッピングが見つからないため初期完全レプリケーションを開始できません** : レプリケーションの準備操作中のいくつかの状況下では、コンテナのリフレッシュが、新規に作成されたフェールオーバー VM に関するインベントリ情報の収集を妨げ、これがネットワークのマッピングに影響してレプリケーションを害する可能性があります。
- ◆ **736280 Linux フェールバックにおいてエラーのある localhost.localdomain ホスト名** : ターゲットホスト名が [変更なし] に設定されていた場合、フェールバック時にワークロードに localhost.localdomain ホスト名が割り当てられました。

3 既知の問題

- ◆ **GUID パーティションテーブル (GPT) 規格のサポート** : PlateSpin Forge は、GPT ディスクパーティションレイアウト規格を使用するワークロードの保護をサポートしています。ただし、ターゲットは常に、MBR (マスタブートレコード) を使用して BIOS から起動するように設定されます。この制限は次のことを意味します。
 - **ボリュームあたり最大 2 TB**: 保護されたワークロードの最大サイズは、2.19 テラバイトに制限されます。これは MBR で許可されるパーティションの最大です。
 - **フェールバック用の物理ターゲットは BIOS からブートする必要があります** : ほとんどのハードウェアベンダーは、複数のディスクパーティショニング規格をサポートしています。BIOS からブートするための物理ターゲットの設定方法、または“レガシーモード” (BIOS のサポートを使用) で動作させるための GPT ハードウェアの再設定方法については、ご使用のハードウェアベンダーのマニュアルを参照してください。

[ナレッジベースの記事 7005452](#) も参照してください。

- ◆ **781217 (SLES 9) UUID を使用してマウントされたボリュームの問題** : SLES 9 ワークロード上のマウントポイントがロックアップされる方法、および PlateSpin Forge が Linux ボリュームを処理する方法に問題があり、UUID によってマウントされた SLES 9 ワークロードの保護に悪影響を及ぼすことがあります。この問題は現在調査中です。

回避策: ワークロードの /etc/fstab 環境設定ファイルを、ストレージデバイスおよびパーティションの UUID ではなくデバイス名を使用するように変更します。[ナレッジベースの記事 7010812](#) を参照してください。

- ◆ **686911 データストアとの間のファイルの送受信に問題がある** : 保護ターゲットが VMware DRS Cluster である特定の状況下において、システムはブート ISO イメージなどのファイルのアップロードまたはダウンロードが失敗する場合があります。これは保護コントラクトにマイナスの影響を与える可能性があります。

[ナレッジベースの記事 7008306](#) を参照してください。

- ◆ **595490 フェールバック時にブートパーティションを保持すると、フェールバックが停止する** : 一部のフェールバックシナリオでは、ターゲットのアクティブ (またはブート) パーティションの保持がシステムによって不適切に許可されるため、ターゲットが正しくブートしなくなります。この問題は調査中です。

回避策: [フェールバックの詳細] では、ターゲットのブートパーティションを保持することを選択しないでください。

- ◆ **698611 特定の状況下でのフルクラスタレプリケーションの障害** : Windows 2008 R2 クラスタ保護契約が既存の VM への同期を通じてセットアップされる場合、およびアクティブなクラスタノードがフルレプリケーションの前にひっくり返った場合、フルレプリケーションジョブが失敗します。
ナレッジベースの記事 [7008771](#) を参照してください。
- ◆ **655828 NSS ボリュームのマウント失敗** : フェールオーバー時またはフェールオーバーをテストした時に、スナップショットが有効になっている NSS ボリュームが期待とおりに自動的にマウントされません。
ナレッジベースの記事 [7008773](#) を参照してください。
- ◆ **680259 (VMware 4.1) トラフィック転送 VM により、ネットワークパフォーマンスが乏しい** :
一部のシナリオで、ネットワークトラフィックを転送するワークロードのレプリカ (たとえば、ワークロードの目的が NAT、VPN、またはファイアウォールのネットワークブリッジとして機能することである場合) は、ネットワークパフォーマンスの大幅な低減を示します。これは、LRO (Large Receive Offload) をもつ VMXNET 2 と VMXNET3 アダプタの問題に関連しています。
回避策 : 仮想ネットワークアダプタの LRO を無効にします。詳細については、[VMware vSphere 4.1 リリースノート \(\[http://www.vmware.com/support/vsphere4/doc/vsp_esxi41_vc41_rel_notes.html\]\(http://www.vmware.com/support/vsphere4/doc/vsp_esxi41_vc41_rel_notes.html\)\)](#) を参照してください。箇条書き項目「Poor TCP performance...」まで下にスクロールしてください。
- ◆ **Linux ワークロードに対するソフトウェア RAID サポートなし** : PlateSpin Forge は、ソフトウェア RAID のボリュームの Linux ワークロードをサポートしていません。
- ◆ **590635 アップグレード後、フェールオーバーの結果が矛盾する** : PlateSpin Forge にアップグレードすると、フェールオーバーの操作が失敗したり、適切なホスト名やワークグループ設定などの正しいフェールオーバーパラメータが適用されなかったりする可能性があります。
回避策 : フェールオーバーを実行する前に、レプリケーションを実行します。
- ◆ **581860 中国語エディションの製品でブラウザの例外が発生する** : 特定のバージョンの中国語が追加されていないブラウザを使用して PlateSpin Forge Server に接続しようとする、Web ブラウザにエラーが発生する可能性があります。適切に動作するようにするには、ブラウザの環境設定を使用して特定の中国語 (たとえば、Chinese [zh-cn] または Chinese [zh-tw]) を追加します。文化的な区別のない Chinese [zh] という言語は使用しないでください。
- ◆ **610918 統合ヘルプ内の展開アイコンおよび縮小アイコンが反応しない** : 拡張ブラウザセキュリティ設定を使用した一部のシステム (Windows Server 2008 上の Internet Explorer 8 など) では、目次内の展開アイコンおよび縮小アイコン (+ および -) が機能しない場合があります。この問題を修正するには、ブラウザ内で JavaScript を有効にします。
 - ◆ **Internet Explorer:** [Tools (ツール)] > [Internet Options (インターネットオプション)] > [Security (セキュリティ)] タブ > [Internet (インターネット)] ゾーン > [Custom level (カスタムレベル)] の順にクリックし、[Active Scripting (アクティブスクリプティング)] 機能用の [Enable (有効にする)] オプションを選択します。
 - ◆ **Firefox:** [Tools (ツール)] > [Options (オプション)] > [Content (コンテンツ)] タブの順にクリックし、[Enable JavaScript (JavaScript を有効にする)] オプションを選択します。
- ◆ **558937 VSS を使用するブロックレベルのレプリケーションの失敗 (Windows):** VSS ベースのサードパーティ製バックアップソフトウェアを使用している場合は、ブロックレベルのレプリケーションが場合によっては失敗することがあります。
回避策 : ブラックアウトウィンドウ (『ユーザガイド』の「保護ティア」を参照) を使用します。

- **611105 アップグレード後に保護契約が見当たらない** : Forge アプライアンスをバージョン 3 にアップグレードすると、*[Ready for Failback (フェールバックの準備ができました)]* または *[Ready for Reprotect (再保護の準備ができました)]* の状態にあるワークロードを持つ保護契約がユーザインタフェース上で見当たらない可能性があります。この問題は、次の修正の際に考慮されます。

4 保証と著作権

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、この文書の内容または使用について、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。また文書の商品性、および特定の目的への適合性については、明示と黙示を問わず一切保証しないものとします。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、本書の内容を改訂または変更する権利を常に留保します。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、このような改訂または変更を個人または事業体に通知する義務を負いません。

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、すべてのノベル製ソフトウェアについて、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。またノベル製ソフトウェアの商品性、および特定の目的への適合性については、明示と黙示を問わず一切保証しないものとします。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、ノベル製ソフトウェアの内容を変更する権利を常に留保します。

本契約の下で提供される製品または技術情報はすべて、米国の輸出管理規定およびその他の国の輸出関連法規の制限を受けます。お客様は、すべての輸出規制を遵守して、製品の輸出、再輸出、または輸入に必要なすべての許可または等級を取得するものとします。お客様は、現在の米国の輸出除外リストに掲載されている企業、および米国の輸出管理規定で指定された輸出禁止国またはテロリスト国に本製品を輸出または再輸出しないものとします。お客様は、取引対象製品を、禁止されている核兵器、ミサイル、または生物化学兵器を最終目的として使用しないものとします。ノベル製ソフトウェアの輸出については、[Novell International Trade Services \(http://www.novell.com/info/exports/\)](http://www.novell.com/info/exports/) の Web ページをご参照ください。弊社は、お客様が必要な輸出承認を取得しなかったことに対し如何なる責任も負わないものとします。

Copyright (c) 2012 Novell, Inc. All rights reserved. 本ドキュメントの一部または全体を無断で複製転載することは、その形態を問わず禁じます。

Novell の商標一覧については、「[商標とサービスの一覧 \(http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html\)](http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html)」を参照してください。

サードパーティの商標は、それぞれの所有者に属します。